



「天皇盃 第29回全国男子駅伝」優勝・入賞の8チームへ 広島市の高校生が平和への祈りを込め制作したトロフィーを授与

株式会社大創産業（広島県東広島市 代表取締役社長：矢野靖二、以下「大創産業」）は、2024年1月21日（日）に開催された「天皇盃 第29回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会（主催：日本陸上競技連盟、愛称：天皇盃 第29回全国男子駅伝、会場：広島県広島市、以下、「天皇盃 全国男子駅伝」）」のメインスポンサーとして、優勝した長野県チームと入賞した8位までのチームへトロフィーの授与を行いました。このトロフィーは、大創産業が広島市立基町高等学校へ依頼し、高校1・2年生6人が平和への祈りを込め、平和記念公園の折り鶴を再利用して制作したものです。



駅伝ゴール地点の様子



表彰式の様子

大創産業は、人々の生活インフラを支える企業の責任として CSR 活動に取り組む中、本大会をスポーツの振興とともに世界平和を国内外に発信する絶好の機会と捉え、広島平和記念公園の折り鶴を再利用したトロフィー制作を、広島市立基町高等学校 普通科創造表現コースの高校生に依頼しました。

前回大会に続き、トロフィーを制作した高校生の代表者3名が表彰式に出席しました。「選手の皆様が一生懸命に走られている様子や、表彰式でトロフィーが選手に授与される様子など、大変貴重な場に同席させていただき、私たちも感銘を受けました。約3ヶ月かけて制作してきたトロフィーを入賞された都道府県の選手の皆様に無事に贈ることができ、とても嬉しく思います。」と感想が寄せられています。



授与されたトロフィー



表彰式で、トロフィーを大切に運ぶ基町高等学校の生徒（左）

■天皇盃 全国都道府県対抗男子駅伝競走大会（略称：天皇盃 全国男子駅伝）

毎年1月に実施される同大会は、国内の男子陸上競技の中・長距離選手の強化育成と駅伝競技の普及を目的に、平和記念公園前を発着点として、広島市、廿日市市内 48.0km のコースを全国 47 都道府県のチームで競うものです。例年 30 万人を超える観客が沿道を埋めています。

■株式会社大創産業について

大創産業は「だんぜん！ダイソー」をスローガンに、生活必需品から趣味趣向品まで生活を豊かにする商品約 76,000 点を取り扱っています。「DAISO」、「Standard Products」、「THREEPPY」を3本柱とし、2023年12月現在、日本を含む世界26の国と地域に5,350店舗展開しています。（国内4,360店、海外990店。うち、DAISOは国内3,813店、海外962店）毎月約1,200種類の新商品を開発し、売上は5,891億円となっています。（2022年3月から2023年2月末）

所在地：広島県東広島市西条吉行東1丁目4番14号

<https://www.daiso-sangyo.co.jp/>

【一般のお客様からのお問合せ先】

株式会社大創産業 お問合せフォーム

<https://www.daiso-sangyo.co.jp/contact>

【メディアの方からのお問合せ先】

株式会社大創産業 広報課

E-mail: grp_kouhou@daisojapan.com